

光化学オキシダントの測定結果（平成24年度）

光化学オキシダントは、窒素酸化物や炭化水素類が紫外線を受けて光化学反応を起こし、二次的に生成される酸化性物質で、光化学大気汚染（いわゆる光化学スモッグ）の原因物質とされ、その発生は気温、風向、風速、日射量等の気象条件に大きく左右されます。

平成24年度に、光化学オキシダントについて12測定局で測定した結果は、下表のとおりであり、いずれの測定局においても環境基準を達成できませんでした。

昼間（午前5時から午後8時まで）の1時間値の最高値が最も高かったのは、笠原測定局の0.139ppmでした。

なお、「岐阜県大気汚染対策要綱」に基づく光化学スモッグ注意報の発令日数は1日（西濃・羽島地域1回及び東濃西部地域1回）でした。

地域	測定局名	昼間測定日数（日）	昼間測定時間（時間）	昼間年平均値（ppm）	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数とその割合		昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数とその割合		昼間の1時間値の最高値（ppm）	日最高1時間値の年平均（ppm）	環境基準の適合○否×	平成23年度	
					時間	%	日	%				昼間年平均値（ppm）	環境基準の適合○否
岐阜	岐阜中央	365	5,442	0.035	451	8.3	93	25.5	0.115	0.051	×	0.029	×
	岐阜南部	347	5,164	0.032	381	7.4	76	21.9	0.105	0.048	×	0.030	×
	岐阜北部	365	5,435	0.032	340	6.3	68	18.6	0.093	0.047	×	0.031	×
	各務原	365	5,434	0.035	511	9.4	102	27.9	0.116	0.052	×	0.031	×
	平均			0.034			23.5					0.030	
西濃・羽島	羽島	365	5,434	0.031	299	5.5	68	18.6	0.120	0.046	×	0.028	×
	大垣中央	365	5,438	0.033	411	7.6	81	22.2	0.110	0.048	×	0.031	×
	大垣南部	365	5,435	0.033	405	7.5	82	22.5	0.107	0.048	×	0.031	×
	平均			0.032			21.1					0.030	
可茂	美濃加茂	365	5,433	0.033	511	9.4	105	28.8	0.118	0.051	×	0.029	×
東濃西部	笠原	365	5,440	0.032	466	8.6	99	27.1	0.139	0.050	×	0.029	×
恵那・中津川	中津川	356	5,281	0.031	442	8.4	87	24.4	0.134	0.050	×	0.027	×
飛騨	高山	355	5,252	0.032	232	4.4	41	11.5	0.086	0.045	×	0.021	×
乗鞍	乗鞍	365	5,441	0.042	394	7.2	66	18.1	0.092	0.048	非適用	0.043	非適用
県平均				0.033			22.6					0.029	

備考) 1 県環境管理課調べ

2 昼間は、午前5時から午後8時までを示す

3 環境基準に適合しているとは、1時間値が0.06ppm以下であることを示す

4 県平均に、乗鞍測定局は含まない

光化学スモッグ予報等発令状況

予報				注意報			
発令日	発令地域	時刻	発令時濃度 (ppm)	発令日	発令地域	時刻	発令時濃度 (ppm)
発令なし				H24. 7. 28	西濃・羽島	15:00	0.120
					東濃西部	15:00	0.139